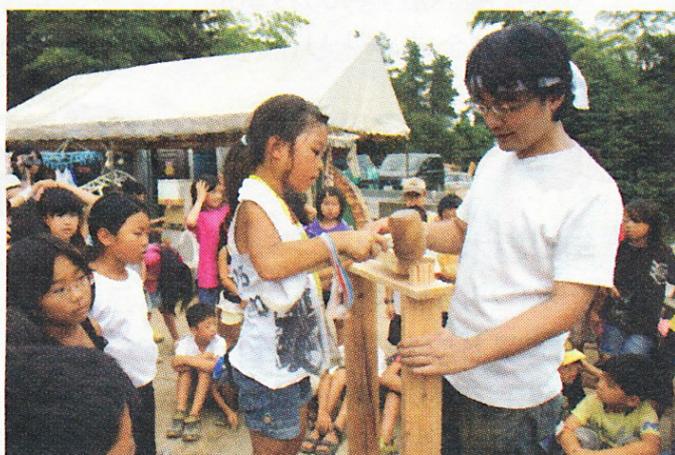


# 夏休みに野外体験

小学生68人がキャンプ

館林

NPO法人しぜん教育研究学園(高橋弘明学園長)のサマースクール「夏の分校09」が20日、館林市成島町の同学園で行われた。「普段できない経験を」と、ドラム缶風呂やナイトツアーのほか、特別講師を招いたユニークな野



間伐材でベンチ作り

外活動を行う3泊4日のキャンプで、東毛地域から68人の小学生が集まった。

同学園は、2001年に発足。畑や手作りプールのある2600平方メートルの敷地で、学童保育を行っている。サマースクールでは、特別講義として、国際環境NGO「FoE Japan」の中畝幸雄さんによる間伐材のベンチ作り、写真家の伊沢正名さんによる講義、NPO法人ミュージック・フォー・チルドレンの朴敬二さんによるコンサートなどを行った。子どもたちは、「友だちがいっぱいできた」と、日焼けした笑顔で話していた。